

平成25年度学力向上マニフェスト

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標(教師側の指標) 成果指標(子ども側の指標)	予算執行	取組の成果	評価
○教員の授業力向上プロジェクト ・教科教育研修会の月例実施 ・問題解決型授業への改善 ・学び合う授業への改善 ・技能指導の改善	基礎的基本的な知識や技能を習得させるために、児童が興味を持って意欲的・能動的に学習に取り組む授業をつくる方法について研修を行う。	児童が課題を理解して、課題解決に向かい、知識技能を学べる授業を構成できているか。課題解決に取り組む児童に対して、適切な支援ができていないか。 児童が問題を解決するために、自分なりに教具を操作したり解決方法をノートに書いたりして、答えを導き出す学習が、できているか。			
○学習習慣の向上・定着 ・学習規律の向上 ・学習環境の改善、整備	授業を学習の場とするための、基本的な授業規律、学習習慣の形成を図り、各授業時間における学習活動の向上を期す。 合わせて、教室を学習の場に相応しくするための環境整備を図る。	授業時間の有効な活用をするために、定時開始と定時終了、学習の場としての教室環境整備、児童の学習規律の指導により、学習活動の質的向上ができていないか。 チャイム着席、正しい姿勢での座り方、机上整理など、学習しやすくするためのルールを守っているか。			
○確かな学力の向上・定着 ・ドリル学習で技能向上 ・応用・発展問題へのチャレンジ ・校内漢字・計算検定の実施 ・補習学習の実施	授業での学習活動が、知識面、技能面、思考力・判断力の3観点からバランスよく行われるように、昨年度、特に不足している技能面での学習を重点化する。	授業づくりにおいて、技能に類する学習時間を確保する。そのうえで、技能の質向上を図るよう指導の改善を行う。 漢字や計算・作図が確実に正確にできるようになったか。			
○家庭での学習習慣の定着 ・自学ノートによる自学自習	家庭学習ノート 自分で自分に必要な学習を決めて、学年に応じた量を毎日書いてくるノートを配布し、全校で実施する。 優れた自学ノートを前項に紹介し、参考にできるようにする。	児童の意欲に着目し、それを認め、励まし、導く指導法を習得する。毎日、ノート点検と励ましのコメント記入を行う。 人に言われてする学習ではなく、自分がやりたい学習、自分にとって必要な学習を自らの判断で行う自律性を養う。ノート提出率75%以上を目指す。			

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める
A: 達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B: 達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C: 達成度が5割未満 → 目標の見直し